

みずほCustomer Desk Report 2022/07/27号 (As of 2022/07/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.46
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.41	1.0224	139.41	1.2057	0.6950
SYD-NY High	136.96	1.0250	139.81	1.2090	0.6984
SYD-NY Low	136.27	1.0108	138.15	1.1965	0.6921
NY 5:00 PM	136.95	1.0117	138.53	1.2030	0.6937
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,761.54	▲ 228.50	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,562.57	▲ 220.10	日本10年債	0.2000%	0.0000%
S&P	3,921.05	▲ 45.79	米国2年債	3.0579%	0.0408%
日経平均	27,655.21	▲ 44.04	米国5年債	2.8994%	0.0117%
TOPIX	1,943.17	▲ 0.04	米国10年債	2.8023%	▲0.0037%
ソコ日経先物	27,445.00	▲ 335.00	独10年債	0.9260%	▲0.1015%
ロンドンFT	7,306.28	▲ 0.02	英10年債	1.9160%	▲0.0165%
DAX	13,096.93	▲ 113.39	豪10年債	3.3790%	0.0120%
ハンセン指数	20,905.88	342.94	USDJPY 1M Vol	10.34%	▲0.47%
上海総合	3,277.44	27.05	USDJPY 3M Vol	10.46%	▲0.27%
NY金	1,717.70	▲ 1.40	USDJPY 6M Vol	10.46%	▲0.24%
WTI	94.98	▲ 1.72	USDJPY 1M 25RR	▲1.18%	Yen Call Over
CRB指数	286.50	1.74	EURJPY 3M Vol	12.81%	0.01%
ドルインデックス	107.19	0.71	EURJPY 6M Vol	12.66%	▲0.04%

【昨日の指標等】

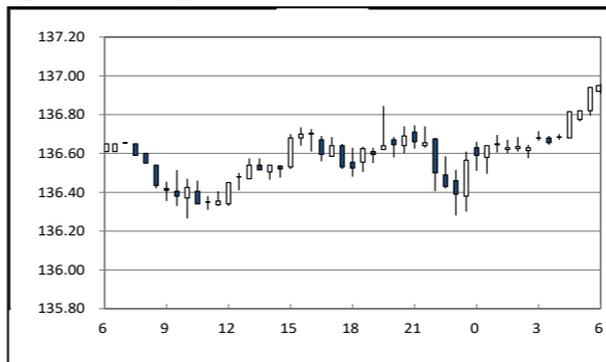
Date	Time	米	Event	結果	予想	
7月26日	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	7月	95.7	97.0
	23:00	米	新築住宅販売件数	6月	590k	655k

【本日の予定】

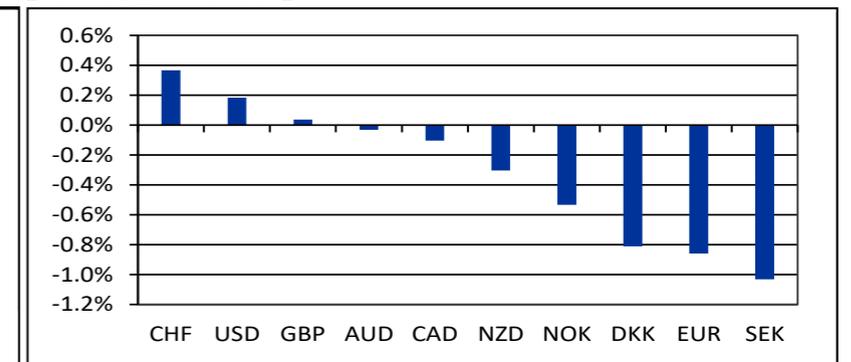
Date	Time	米	Event	予想	前回	
7月27日	21:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	6月	-0.4%	0.8%
	21:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)・速報	6月	0.2%	0.7%
	23:00	米	中古住宅販売契約(前月比)	6月	-1.0%	0.7%
7月28日	03:00	米	FOMC政策金利(下限/上限)	7月	2.25%/2.5%	1.5%/1.75%
	03:30	米	米FRB議長会見		-	

東京	東京時間のドル円は、136.41レベルでオープン。日経平均が下げる中、ドル円も136.27まで下落。仲値にかけて反発するも、その後方向感無く推移。午後は米金利上昇の流れにドル円も買われ、136.70レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.70レベルでオープン。ドル円は方向感なく推移しほぼ変わらずの136.64レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0222レベルでオープン。ロシア側が昨日に続き欧州へのガス供給を絞るとのヘッドラインに独株主導でリスクオフ。ユーロも一時1.0125まで低下し1.0132レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日ロシアが欧州に対して更にガスの供給を削減することを発表し海外市場でユーロ売りが継続しドル円の下値をサポートされるが、クロス円の下値は重く136.64レベルでオープン。朝方は米紙が明日のFOMCでは利上げ幅のガイダンスがより減少するだろうとの内容の記事を出したことが伝わるがドル円の反応は限定的となる中、欧州債利回り低下にあわせて米国債利回りも低下する動きに136.28まで下落する。その後は10時に発表の米7月消費者信頼感指数並びに、6月新築住宅販売件数が共に予想を下回ったことからややドル売りが強まるものの、明日のFOMC結果発表を控え米金利がじり高で推移する中、136.69まで戻す。午後は米5年債入札結果が良好であったもののドル売りには繋がらず、狭いレンジでの推移が続くがNY終盤に掛けて米金利が上昇する展開に136.94まで上昇し、136.95レベルでクロスした。一方、ユーロドルはガス供給削減を受け欧州債金利が低下する中、じりじりと下落し1.0132レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0152まで戻す局面もあったが、米金利が上昇に転じる中ユーロドルは1.0108まで下落する。午後は明日のイベントを控えドル買いが強まるがユーロドルは1.0120付近での推移が続き、1.0117レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.20-137.80	1.0080-1.0300	138.00-140.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は136.41レベルでオープン。米金利が緩やかに上昇する中、ドル円も買われた。海外時間では、EUエネルギー相会合でガス使用量を15%削減する案が承認された。米小売大手ウォルマートの業績見通しの下方修正を受けてターゲットやアマゾンなどの小売大手も連れ安となったこと、米7月コンファレンスボード消費者信頼感指数も95.7と市場予想97.0に対して下振れたことから景気後退懸念が強まった。米金利も上昇してドル円は136.96まで買われ、136.95レベルでクロスした。
 本日のドル円は、底堅い展開を予想する。IMFの世界GDP成長率見通しも下方修正されるなど景気後退懸念が強まっていることから、リスクオフのドル買いが一定程度見込まれる。一方、月末絡みの実需による売り買いが交錯するとみられ、ドル買い一辺倒ではないだろう。米国時間には、FOMCに注目が集まる。今回は75bpが織り込まれているが、今後の利上げペースについての発言次第では上下に振れやすく、警戒が必要だ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・多川